

令和元年11月12日

西部農林振興センター 益田事務所 農業普及部

標題

「注連川の糧」ハゼ干し講習会&収穫祭

～島根県知事も訪問～

(ダイジェスト)

10月20日に「注連川の糧」生産者ほ場にてハゼ干し講習会と収穫祭が開催され、県外の人や吉賀高校の地域クラブ員、さらに島根県知事の訪問もあり、地域と県外の方、関係機関との交流が行われました。

「注連川の糧」は鹿足郡吉賀町で平成17年に、現状の農業（主に稲作）の在り方のなかで、食の安全及び責務・環境・流通・集落の存亡において疑問と危惧を抱き、農業従事者に限らず有志10名で発足した任意組織です。現在は主に5名の生産者が中心となり、会独自で環境に配慮した栽培認定区分を設けた栽培活動を行っており、米・食味分析鑑定コンクールでは会員が数多くの賞を受賞しています（平成30年12月12日付け普及情報No.26参照）。また、生き物調査や収穫祭などといった、地域振興や農業振興など様々な活動を行っています。

ハゼ干し講習会では、県外の人や吉賀高校地域クラブ員（県外出身高校生）も参加し、生産者との交流が図られました。また、今回は丸山県知事も訪問し、高校生達と一緒に稲刈りやハゼ干しを行いました。

収穫祭では吉賀高校の地域クラブの餅つき体験や、県外シェフによる料理の振る舞い、津和野町住民や県外アーティストの生演奏もあり、始終賑やかな雰囲気でした。

普及部では今後も「注連川の糧」の活動を支援していき、農業振興・地域振興・地域貢献に取り組んでいきます。

